

健全育成分科会全体報告会

第一分科会「防災教育」 平成30年度活動報告

令和元年5月12日



神奈川県立高等学校PTA連合会

報告内容の構成

①活動の概要

目標、活動経緯

②現状把握と成果の作成

現状把握、成果の作成（災害対応携帯カード、救急救命携帯カード、使用説明書、防災情報提供ポータルサイト）

③今後の予定

成果物の周知と提供、防災情報提供ポータルサイトの運営

目標

1. 前年度（平成29年度）に実施した防災に関するアンケートの結果を踏まえ、防災教育の実効性について調査・研究を行う。
2. テーマの的を絞って調査を行い、広く会員に情報を提供する。

⇒アンケート結果を反映した成果の作成と会員への情報提供

活動経緯 (1/2)

第1回 (2018/8/25)

協議 活動目標設定、活動計画概要、県大会分科会企画立案

第2回 (2018/9/24)

勉強会 高等学校における防災教育の現状について
—講師：教育委員会教育局市之瀬副課長

協議 県大会分科会企画検討

第3回 (2018/11/10)

協議 県大会分科会企画決定、当日役割分担決定、防災対応シート作成について方向性検討

活動経緯 (2/2)

第4回 (2018/12/1)

協議 昼休み時に講演会準備の最終確認、今後の活動予定打合せ、県大会分科会講演の運営

第5回 (2019/1/26)

協議 防災対策シートの詳細内容検討、防災ポータルサイトの検討、県大会分科会アンケート結果とりまとめ報告と意見交換

第6回 (2019/2/23)

協議 災害対応カードDRAFT版の確認、取扱説明書作成と情報提供の段取り、防災情報提供ウェブサイトの作成について

2. 現状把握と成果の作成

防災教育の現状把握—取り組み状況

- ✓ 東日本大震災（平成23年3月）を踏まえて改訂された指導資料をもとに防災教育を展開
- ✓ 災害図上訓練（DIG）など、生徒を対象とした参加型で実践的な防災教育を各校で実施



2. 現状把握と成果の作成

防災教育の現状把握—高校生の意識

- ✓ 災害時の情報収集の手段は携帯電話頼み、使用不可時の不安を感じている生徒も多い
- ✓ 災害対応について家族と話し合う機会がない生徒が半数に上る

⇒ “伝える” ≠ “伝わる”
の実態が浮き彫りに

高校生の 防災・災害に関するアンケート 結果

【実施概要】

実施時期：平成30年4月～5月

対象：平成29年度理事校……10校
第1分科会員所属校……8校

回答数：4,749名

http://www.kanagawa-koupren.org/wp_prod/wp-content/uploads/2018/06/bousai-20180625.pdf

2. 現状把握と成果の作成

防災教育の現状把握—教育教材

- ✓ 総務省消防庁、国土交通省等から各種教材を入手可能
- ✓ 大学では学生を対象とした対応マニュアルを作成・配布

防災マニュアル

大学構内の避難場所や災害時の緊急連絡先、安否情報システムの使用方法などについてまとめた防災マニュアルを作成しましたので、一読いただくとともに、プリントアウトして活用してください。
なお、学生便覧にも「地震対策」、「その他の災害対策」について記載がありますので、併せて一読願います。

地震、その他の自然災害の発生を防ぐことはできませんが、しっかり対策をしておけば、被害を減らすことはできます。自分の命は自分で守れるよう、日ごろから万全の備えをしておきましょう。

[静岡県立大学防災マニュアル \(2018年10月更新\) \(PDF ファイル 3.14MB\)](#)
[震災対応ポケットマニュアル \(PDF ファイル 2.49MB\)](#)

参考サイト

- 1 地震はなぜおきるの? (静岡県ページへ)
http://www.e-quakes.pref.shizuoka.jp/manabu/why/index_b.htm
- 2 地震の予知に関する情報 (気象庁ページへ)
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/faq/faq24.html>
- 3 耐震補強、家具等の固定、備蓄品など (静岡県ページへ)
<http://www.taishinnavi.pref.shizuoka.jp/antearthquake/index.html>
- 4 初期消火、救出・救助、避難など (消防庁ページへ)
<http://www.e-college.fdma.go.jp/kiso/03/kiso03.html>
- 5 災害用伝言ダイヤルの使い方など (NTT西日本のページへ)
<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/campuslife/support/disaster-prevention/>

<http://open.fdma.go.jp/e-college/>

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>

成果作成の考え方

- ✓登下校時など、高校生自身が判断・行動しなければならない場面で必要な対応を示す
- ✓それぞれの学校や家庭において自分事として確認・学習できるようにする
- ⇒**発生時の対応、帰宅時の注意事項、家族への連絡方法などをとりまとめたカードと、いざという時の救命処置のメモを作成**
- ✓自らの確認や学習をきっかけに、さらに情報収集や学習ができる場所を用意する
- ⇒**成果を入手したり防災情報や教材を入手したりできる防災情報ポータルサイトを構築**

作成した成果

① 災害対応携帯カード

発生時の対応、帰宅時の注意事項、家族への連絡方法などをとりまとめたカード

② 救急救命携帯カード

いざという時の救命処置のメモ

③ 使用説明書

成果を入手、編集、利用するための手引き

④ 防災情報提供ポータルサイト

成果を入手したり防災情報や教材を入手したりできるウェブサイト

2. 現状把握と成果の作成

災害対応携帯カード (1/3)

登下校時に携行できるように定期券サイズで作成

The image displays a 'Disaster Response Mobile Card' designed for A4 size. It is divided into several sections:

- Left Section (Instructions):** Contains detailed text in Japanese regarding emergency procedures, such as '地震発生時の対応' (Response during an earthquake) and '家族との連絡方法' (How to contact family). It includes a QR code for more information.
- Central Form:** A form for personal and school information. It includes fields for '氏名' (Name), '生年月日' (Date of Birth), '性別' (Gender), '住所' (Address), '電話番号' (Phone Number), and '学校' (School). The school name is '神奈川県立 高等専門学校' (Kanagawa Prefectural Institute of Technology).
- Right Section (Emergency Info):** Contains QR codes for '災害時連絡手段' (Disaster communication methods) and '家族との連絡方法' (Family contact methods). It also includes a '日頃の準備' (Daily preparation) section with checkboxes for '自宅周辺の避難場所' (Evacuation location near home), '通学途中の避難場所' (Evacuation location during commute), and '家族との連絡方法' (Family contact method).

定期券
サイズ

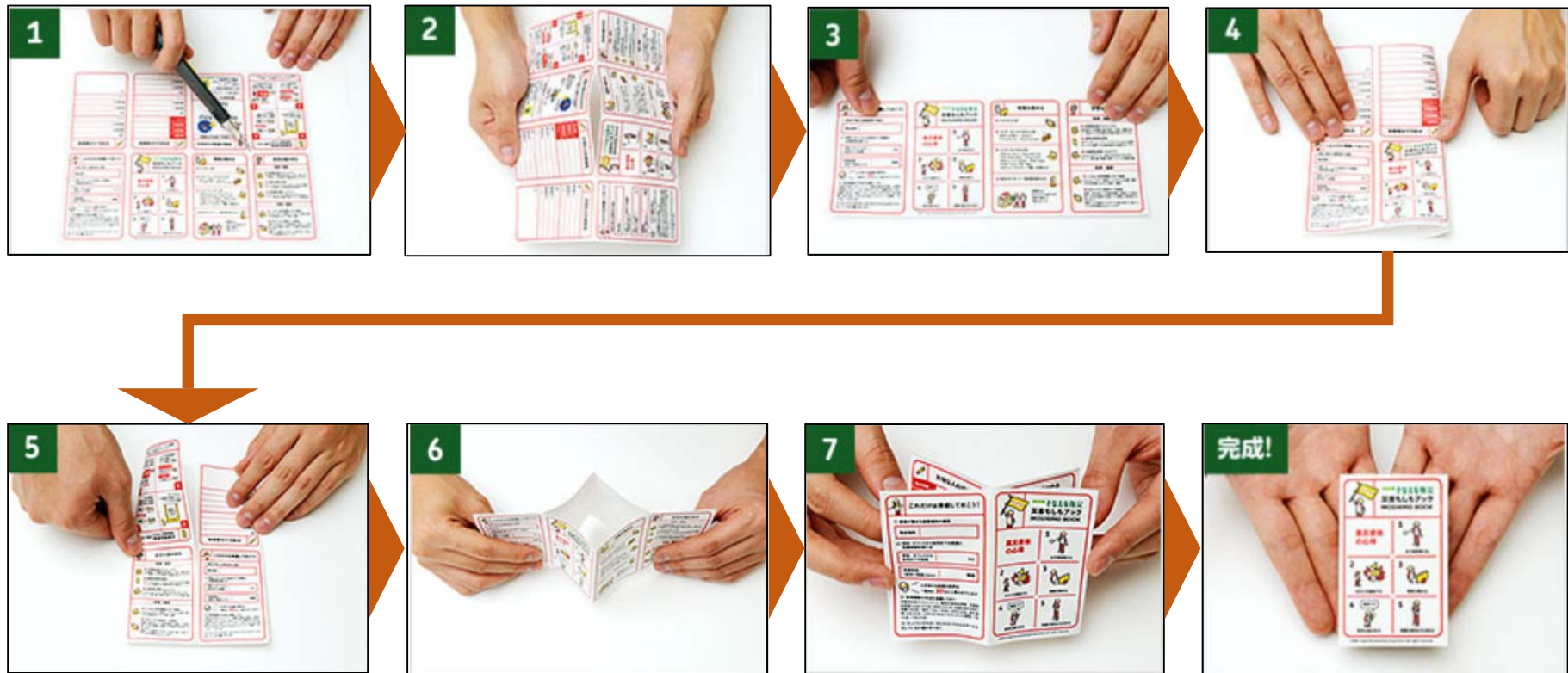
A4
サイズ

印刷面

2. 現状把握と成果の作成

災害対応携帯カード (2/3)

A4サイズで出力したものを簡単に定期券サイズに折りたたんで携行できる



2. 現状把握と成果の作成

災害対応携帯カード (3/3)

各校においてカスタマイズ可能な形態で提供

編集面で編集した内容が印刷面に反映される

印刷面

印刷面

編集面

2. 現状把握と成果の作成

救急救命携帯カード

いざという時の救命処置のメモとして作成

サイズや編集・印刷機能は対応カードと同仕様

The image displays a grid of 12 cards, each illustrating a different emergency procedure. The cards are arranged in a 3x4 grid. Each card features a numbered list of steps (1, 2, 3, 4) and corresponding illustrations. The procedures include:

- 1. Fire extinguisher use (火災時の器具の使い方)
- 2. First aid for hand injuries (手先の怪我の手当て)
- 3. CPR (心肺蘇生法)
- 4. AED usage (AEDの電源ボタンを押す)

 The cards are designed to be printed and used as a portable emergency manual.

定期券
サイズ

A4
サイズ

印刷面

119番通報

通報をするとき、必要なことを簡潔に伝えられるように心がけてください。

●火災の通報例

119番受付員	通報者
火事ですか、救急ですか	火事です
場所はどこですか	〇〇市〇〇区〇〇丁目〇〇番〇号です
何が燃えていますか	〇〇が燃えています
あなたの名前とつながっている電話番号を教えてください	私の名前は〇〇〇〇〇〇です 電話番号は〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇〇です

●救急の通報例

119番受付員	通報者
火事ですか、救急ですか	救急です
場所はどこですか	〇〇市〇〇区〇〇丁目〇〇番〇号です
どうなりましたか	〇〇が倒れました
あなたの名前とつながっている電話番号を教えてください	私の名前は〇〇〇〇〇〇です 電話番号は〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇〇です

気が動かし落ち着いて通報ができなくなることがあります。あわてて一方的に話すと正確に伝わらない上、時間もかかります。自分だけで一気に話そうとせず、落ち着いて聞かれたことに正確に答えていくのが良い方法です。あなたが通報している場所まで煙や火が拡大するなど危険が迫っている場合は、すぐ避難しましょう。

校章 神奈川県立 ●● 高等学校

災害時救命マニュアル

備えよ、常に Be Prepared

自助が防災の基本の考えといわれるのは、一人一人が自分と自分の身の回りの防災を考えることで災害に対する心構えを持ち、被害を最小に抑えることができるからです。さらに災害で自身を守る事により、家族や友人、近所の人などと助け合うこと＝共助ができるようになります。まずは、自身の身体生命を第一に考え、安全を確保する行動をとってください。

自助
公助
共助

心臓蘇生法 (CPR) とは、人が倒れて心臓停止した人の呼吸・循環機能を維持する目的で、胸骨圧迫および人工呼吸を行うことです。

倒れている人がいる！

声をかけても反応なし！

応答を呼ぶ！

気道を確保

呼吸を確認

胸骨圧迫

胸骨圧迫は100回以上の早急で、胸骨が5cm沈むよう圧迫。ドクさんの「あんなこといなか」の歌のリズムで100回/分になる！

人工呼吸は必ず必要ありません。

胸骨圧迫を再開して下さい

絶え間なく！

送らず！一時救命処置

1分経過するごとに1〜3%救命率が低下し、5〜10分で生存率はほぼゼロとなる。

- AEDの電源ボタンを押す
- 音声指示に従い、電極パッドを貼る
- 音声指示に従い、患者から離れる
- 音声指示に従い、ショックボタンを押す
- すぐに胸骨圧迫を再開

2. 現状把握と成果の作成

使用説明書

災害対応カード等の成果物の入手、編集、使用方法を示した「利用マニュアル」を作成

3. 利用マニュアル

3-1. ダウンロードとカスタマイズ方法

ファイルのダウンロード: 県高 P 連のウェブサイトから、編集可能なファイル (MS-Excel ファイル) をダウンロードしてください。

カスタマイズ: ファイル内は 9 つのシートに分かれており、実際に印刷してカードになるのはシート「印刷面」です。また、印刷面の各部分はその他の編集用シート (表紙/1p/2p/3p/4p/5p/6p/裏表紙) とリンクし、各シートの編集内容が印刷面に反映されるような構成になっています。

表紙の学校名を変更する例で編集作業と印刷面への反映方法を示します。

編集前の画面では、編集用シート「表紙」、印刷用シート「印刷面」ともに、「〇〇高等学校」となっています。

編集用シートに、「関内高等学校」と入力すると、印刷用シートも「関内高等学校」に変更されました。

このように、編集シートにおいて、学校名を変更したり、パーソナル情報を記入したりすることにより、自身の学校用、あるいは個人用にカスタマイズすることができます。編集作業にあたっては、印刷時に文字の見切れなどが発生しないよう、シート「印刷面」を確認しながら、入力することが肝要です。

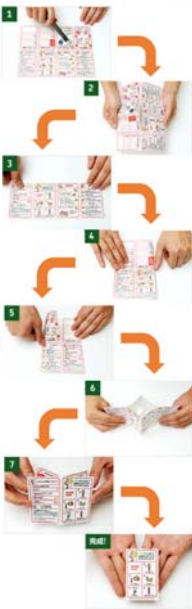


3-2. 印刷と折りたたみ方

印刷: シート「印刷面」において、A4 サイズ 1 ページに出力する設定となっていることを確認したうえで、印刷を行います。

折りたたみ方: 次の 1~8 の手順で行います。作業にあたってはカッターを用意してください。

- [1] 印刷した災害対応カードの実線部分を切り取ります。
- [2] 災害対応カードの中心の実線の部分 (二重線となっている部分) に、カッターで切れ目を入れます。
- [3] 両側を中に折ります。
- [4] 一度災害対応カードを広げて、真ん中を山折りにします。
- [5] さらに中心に向かって半分に折ります (両側)。
- [6] 真ん中の切れ目を開きながら、中心同士を合わせます。
- [7] タイトル「災害対応カード」の文字が入っている面を表に、「緊急時/パーソナルメモ」の面が裏側に来るように折ります。
- [8] 災害対応カードの完成です!



災害対応カード 利用マニュアル



2019 年 4 月

神奈川県立高等学校 PTA 連合会

2. 現状把握と成果の作成

防災情報提供ポータルサイト（1/2）

防災情報を発信するサイトとして、試行的にポータルサイトを作成



<https://bousaikanagawapta.wordpress.com/>

2. 現状把握と成果の作成

防災情報提供ポータルサイト（2/2）

✓分科会の活動情報発信や成果物を提供

✓防災関連情報入手先リンク集 など

The screenshot displays a website interface for disaster information. At the top, there is a navigation menu with links for Home, Earthquake, Thunder (Heavy Rain), Fire, and Others, along with a dropdown for the Health Promotion Committee and Subcommittee Activities. The main content area is titled '健全育成委員会 分科会活動' (Health Promotion Committee Subcommittee Activities). It features a section for '2017年度活動 アンケート調査結果概要' (2017 Annual Activities Survey Results Summary) and '第一分科会ミーティング' (1st Subcommittee Meeting), which includes a list of meeting minutes from 2018. A small illustration of a person reading is placed next to this list. Below this is a section for '分科会成果物' (Subcommittee Outputs), describing a disaster response card and manual. To the right, there is a '防災関連情報' (Disaster-Related Information) section with a text introduction and a list of links for disaster-related information in Saitama Prefecture, Tokyo, and the Ministry of Health, Labour and Welfare. At the bottom right, there are logos for '消防省 総務省消防庁' (Ministry of Health, Labour and Welfare, Fire and Disaster Management Agency), '救急・救命 通信関係' (Emergency/Rescue Communication), and 'いち市民向け 応急手当WEB講習' (Emergency First Aid Web Training for Citizens).

成果物の周知と提供

1. 全体報告会をもって成果を公表し、
今後は高P連ウェブサイトでも発信
していく
2. 新年度には改めて情報を発信し、
各校において内容を確認いただき、
活用のきっかけとしていただく
3. 記載内容が実態と合わなくなった
場合など、必要に応じて更新を検
討する

防災情報提供ポータルサイトの運営

1. 成果の入手先として活用する
2. リンクの充実を図り、災害情報や防災教育教材などの収集先として活用する
3. 優れた取り組み事例など、各校にとって参考となる情報共有の場として活用する



終

国土交通省東北地方整備局「震災伝承館」より

<http://infra-archive311.jp/>